



2018年9月7日

ミニトピックス

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の 世界文化遺産登録を受けた県内観光の状況

日本銀行長崎支店

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行長崎支店までご相談ください。
転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

<本件に関する問い合わせ先>

日本銀行長崎支店総務課

〒850-8645 長崎市炉粕町32番地 TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の 世界文化遺産登録を受けた県内観光の状況

- ・世界文化遺産登録を受け、県内構成資産の来場者数は大幅に増加。観光関連事業者が様々な集客施策に取り組む中、旅行商品の催行率の上昇や旅客輸送量・宿泊客数の増加、飲食・土産物の売上増など、一定の波及効果がみられる。
- ・もっとも、今夏は台風・大雨や猛暑の影響から県内外からの客足が伸び悩んでいることに加え、供給側においても、五島列島などの離島地区では貸切バスや宿泊施設の不足等により、高まる需要を取り込めていない状況が散見される。
- ・今後は、構成資産を中心とした当該地域全体について、“観る場所”と“泊・食の場所”の役割分担を意識した上で“面”としての受入態勢の拡充が期待される。例えば、①宿泊・交通キャパシティの拡大、②構成資産と交通拠点間のアクセスの整備、③観光客の目線に立ったサービスの拡充(ガイドの充実、“食”の提供、子供連れ・高齢者への配慮、構成資産以外の場所・施設への回遊等)といった取組みにより、観光客の利便性や満足度を向上させる取組みが望まれる。

(観光関連指標)

(前年比：%)

	県内主要 観光施設 入場者数			県内主要 ホテル・旅館 宿泊者数		
	県南地区	県北地区		県南地区	県北地区	
18/1-3	▲ 2.8	▲ 1.5	▲ 3.9	7.3	4.1	10.4
4-6	▲11.2	▲18.9	▲ 2.4	6.8	▲ 0.3	14.5
18/4	1.6	▲ 2.6	5.4	14.3	9.7	18.5
5	▲17.6	▲23.8	▲10.2	2.9	▲ 4.0	10.7
6	▲14.3	▲25.8	1.6	3.5	▲ 5.4	14.6
7	▲15.5	▲21.6	▲10.9	▲ 4.9	▲10.8	0.3

(出所) 当店

(潜伏キリシタン関連遺産来場者数)

(人、%)

	17/7-8月 合計	18/7-8月 合計	前年比
大浦天主堂	69,261	83,990	21.3
県内合計	87,029	122,376	40.6
合計(大浦天主堂除く)	17,768	38,386	2.2倍

(出所) 長崎県

(足もとの状況)

運輸業者

- ・教会群や離島等潜伏キリシタン関連遺産を有する地域向けの輸送量は着実に増加。
 - ✓市内観光コースに比べて高価格帯ながら長崎市郊外の教会群を巡る貸切観光タクシー商品の利用件数は前年比5倍に増加。
 - ✓8月の長崎・五島間の利用客数は、航路・空路とも前年比+数%から1割弱の増加。増便した長崎・上五島間(航路)、福岡・五島間(空路)は7割方の増加。
 - ✓クレジットカード非対応港にハンディタイプのモバイル通信型クレジットカード端末を導入。
 - ✓9月以降は海象の状況が悪化するため、運航率の低下が心配。

旅行代理店

- ・パック商品の予約は定員を上回ることも。もっとも、貸切観光バスや宿泊施設の不足により商品の追加や定員の拡大ができず需要の取りこぼしも散見。
 - ✓定期船や海上タクシーを組み合わせた五島周遊ツアーを2便に増便。7月の利用者数は約2倍に。
 - ✓パック商品の予約が当初想定よりも好調なため、定員を1.5倍に引上げ。

- ✓全国的な注目度の高まりから、通常3~4割の企画商品の催行率が足もとでは7割超え。
- ✓ツアー商品の予約は好調。特に10~11月が良い。
- ✓バック商品は定員を超える予約希望がみられるが、貸切観光バスや宿泊施設が不足。旅行業者間の争奪戦となっており、商品の追加や定員の拡大が難しい。
- ✓五島で貸切バスの手配ができず、ツアー商品が作れなかった。

観光施設

・構成資産をはじめ周辺施設でも観光客数が増加。

- ✓7~8月の県内11構成資産の施設等来場者数は、前年比+4割と大幅に増加。
- ✓「春日集落」の観光客数は、7~8月で前年比10倍と大幅に増加。また、キリシタン関連の展示室を備えた博物館・島の館の入場客数も4~7月で前年比+7%程度の増加。
- ✓島原城内のキリシタン史料館で潜伏キリシタンについて勉強してから「原城跡」へと向かうツアーが多い。最近では、キリスト教徒の多い韓国からの観光客が増加。
- ✓世界遺産登録を受けてインバウンド客がさらに増加すると見込んで、日本語のみであった音声ガイドに英語を追加。今後は韓国語を追加する予定。
- ✓「原城跡」ではVR(仮想現実)の技術を使った観光コンテンツを提供。
- ✓「外海の出海集落」と「外海の大野集落」は公共交通機関のアクセスが悪いため、往訪を断念する観光客が多い。
- ✓2015年の「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録の際は多数の問合せがあったが、今回は少ない。
- ✓西日本豪雨災害の影響により被災地からの観光客数が減少していることもあり、世界遺産登録効果がまだ不透明なため、本格的な施策は実施しておらず様子見。

宿泊施設

・キリスト教徒の多い国からのインバウンド客や近隣県からのショートトリップが増加。

- ✓キリスト教徒の多いフィリピンからの宿泊者が増加。
- ✓8月入り後の直前の予約者数は前年比1.8倍。多くが九州近隣県からの旅行者。
- ✓今年の日並びの良い9月の宿泊予約は前年比+2割程度増加。

飲食・土産物

・キリシタン関連の土産物販売が伸長しているほか、レストランの売上増も。

- ✓各土産物メーカーが世界遺産関連の商品を投入していることもあり、キリシタン関連の土産物販売が伸長。
- ✓世界遺産登録決定後は、商業施設内のレストランの売上高が前年比+3%程度増加。
- ✓西日本豪雨災害等の影響で客足が戻っておらず、8月の売上は前年を下回る見込み。

(当地企業等から聞かれた今後の取組み・課題)

- ・下調べなく港に来て五島に渡ろうとする観光客への対応のため、受入や案内の体制を強化。
- ・五島では宿泊施設が手配できないため日帰りプランの販売を強化。
- ・上五島にホテルが不足しているため、長崎市や佐世保市に宿泊し、日帰りで五島を旅行する商品を提供。
- ・ガイド不足が懸念されているため育成に取り組む。
- ・五島では老朽化が進んでいる宿泊施設が多く、改修等による受入体制整備が必要。
- ・人の生活に密着した遺産であることや広範囲に分散していることからツアーが組みにくい。
- ・2015年の「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録後に「軍艦島」を訪れた観光客が多く、短期間で再び当地を訪れることを敬遠している可能性。

以 上